

## 地域・社会との共生

オカムラグループは、地域の方々とともに発展していくため、それぞれの地域の社会活動・環境活動などへの参加を通じて交流や社会貢献に努めるとともに、事業活動の中で蓄積してきた知見と経験を生かし、人財の育成や、社会課題の解決に向けた情報発信や場の提供などを通じて、持続可能な社会の構築に貢献していきます。

### オカムラグループ社会貢献活動方針

オカムラグループでは、創業から引き継がれてきた基本方針の考え方にに基づき、広く社会課題の解決に資する取り組みの推進に向け、2021年5月に、「オカムラグループ社会貢献活動方針」を制定しました。本方針では、対話・交流を通じた社会との共生、事業で蓄積した知見・経験の活用、従業員の活動支援などの取り組み姿勢を明記しています。

 **オカムラグループ社会貢献活動方針**  
[https://www.okamura.co.jp/corporate/sustainability/policy/social\\_contribution\\_activities\\_policy.pdf](https://www.okamura.co.jp/corporate/sustainability/policy/social_contribution_activities_policy.pdf)

### 社会貢献活動の運用ルール

地域や社会のニーズを踏まえ、より有意義な社会貢献活動を推進していくために、2022年3月に社会貢献活動の運用ルールを策定しました。社会性・公益性が高く、社会から広く理解が得られる活動であることや、社会への好影響、長期的視点での事業活動との関係等を客観的に評価して取り組むことなどを定めています。

今後も本ルールに基づき、活動の充実に努めていきます。

### ボランティア休暇

従業員のボランティア活動への参加を支援するため、ボランティア休暇を設けています。従業員が保有している傷病休暇（有給）のうち、年間5日を限度にボランティア休暇として利用することができます。イントラネットや社内報等で休暇の申請方法や利用者の声などを紹介し、利用促進を図っています。（詳細 ▶ [P.80](#)、データ集 ▶ [P.167](#)）

### 地域社会活動への参画

オカムラグループの各拠点では、イベントや清掃活動、地域の方々へのグラウンド貸し出し、災害時の支援などを通じて、地域社会活動へ積極的に参加・協力しています。

### 2023年度の主な地域社会活動

- 少年野球チームへのグラウンド貸し出し（山陽オカムラ）
- 「ヒルクライムチャレンジ グランフォンド高梁 2023 supported by ハレいろ・サイクリングOKAYAMA」の会場としてグラウンド提供（山陽オカムラ）
- 大阪府東大阪市のイベント オープンファクトリー「こーばへ行こう！」への参加（関西オカムラ）
- 地域住民・子どもたちを対象とする工場見学  
（詳細 ▶ [P.143](#)）
- 地域の清掃活動（各生産事業所・オフィス拠点・物流拠点）
- 献血ボランティア（各生産事業所・オフィス拠点）
- 東京善意銀行への新型コロナウイルス検査キットの寄付

## 海外拠点での地域社会活動

2023年度は新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したことを受け、海外の拠点でも地域の方との交流イベントが再開しました。イベントや清掃活動を通じた地域社会活動へ積極的に参加・協力しています。

### 2023年度の主な地域社会活動（海外拠点）

- 地域清掃活動への参加  
(PT.Okamura Chitose Indonesia)
- 周辺の保育園・小学校への文房具寄付  
(Siam Okamura Steel)
- 近隣児童施設への訪問・寄付  
(Siam Okamura International)



近隣児童施設への訪問・寄付の様子  
(Siam Okamura International)

## スポーツ支援

オカムラグループは、地域スポーツチーム等へのグラウンドの貸し出し、プロスポーツチームなどのスポンサーシップ、スポーツイベントへの協賛などを通じてスポーツ支援活動を行っています。また2021年4月にはパラアスリート選手を従業員として採用し、競技活動を支援しています。

### <スポーツチームのスポンサーシップの例>

- 横浜FC
- 日本製鉄釜石シーウェイブス\*

\* 日本製鉄釜石シーウェイブス：日本初の地域共生型クラブチームとして2001年4月25日に創設されたラグビーチーム。ジャパンラグビーリーグワンのディビジョン2に所属し活動。エヌエスオカムラの従業員がメンバーとして活躍



横浜FC



日本製鉄釜石シーウェイブス

## 災害被災地支援

オカムラグループは国内で発生した大規模自然災害で被災された方々の支援、被災地の復興のために義援金および寄付金、物資による支援活動を行っています。またオカムラは、個人・NGO・経済界・政府が対等なパートナーシップのもとに紛争や災害時の緊急人道支援のために協働する特定非営利活動法人ジャパン・プラットフォーム (JPF) の賛助会員となっています。

## TOPICS

### 令和6年能登半島地震の被害に対する支援について

オカムラは、「令和6年能登半島地震」で被災された方々への支援や被災地の復興に役立てていただくため、義援金と物資を合わせた支援を実施しました。

#### 1. 義援金の寄付

被災地への義援金として、石川県へ3,000万円を寄付しました。

また、被災地での緊急人道支援のために活動する特定非営利活動法人ジャパン・プラットフォーム、特定非営利活動法人ワールド・ビジョン・ジャパンへそれぞれ100万円を寄付しました。

#### 2. 物資の支援

被災地への支援物資として、当社の家具など2,000万円相当の製品を公共施設等の復旧、復興のために寄贈します。(2024年3月末現在)



石川県への義援金の目録を贈呈  
左：石川県副知事 徳田 博様  
右：株式会社オカムラ  
常務執行役員 佐藤 喜一

## 生産事業所における ステークホルダーとの コミュニケーション

オカムラグループの生産事業所では、地域の方々との交流を通じ、地域社会活動へ積極的に参加・協力しています。

### 工場見学会・懇談会の開催

オカムラグループの生産事業所では、企業の仕事を学ぶ子どもたちやお客さまを対象とする工場見学を実施しています。

工場見学では、製品がつくられる様子やさまざまな工夫、技術の継承による人材育成などを紹介しています。追浜事業所が小学生を対象に開催している「夏休みものづくり工場見学」では、イスに使う革の切れ端を使ったコインケースづくりや、1枚のスチール板からいくつもの工程を経てできるカードケースづくりの体験を通して、ものづくりの楽しさを伝えています。定期的に行っている近隣の方々との懇談会・企業見学会では、製造工程や廃棄物施設を見ていただき、環境に対する取り組みを説明し、地域の方々の理解・安心につながるよう意見交換の場も設けています。

### 地域との災害時の連携

オカムラグループの生産事業所では、災害発生時に迅速な対応ができるよう、事業を行う地域での行政機関との連携協定締結や、地域の防災活動に参加しています。

### 災害に関連する主な協定

拠点	概要
高島事業所	災害時協力についての合意書締結（沢口部落会）
追浜事業所	横須賀市消防協力隊（横須賀市）
富士事業所	御殿場市災害時支援協力協定締結（御殿場市） 御殿場市消防団協力事業所（御殿場市）

## インクルーシブな社会に向けた取り組み

オカムラグループでは多様性を重視し、一人ひとりが自分らしく生きられる“インクルーシブな（排除しない）社会”の実現に向け、さまざまな取り組みを推進しています。

### 2023年度の主な活動

- 特別支援学校・養護学校を対象とするインターンシップ（富士事業所・つくば事業所）
- 特別支援学校への講師派遣（[詳細 ▶ P.146](#)）
- 特別支援学校を対象とする工場見学（富士事業所）
- 障がい者福祉施設お菓子販売（各生産事業所・オフィス拠点）
- パラ卓球トップアスリートの雇用・競技活動支援（[詳細 ▶ P.87](#)）

### インクルーシブ・スポーツ支援

特定非営利活動法人アクティブスポーツは、「共生社会の実現をスポーツの力で!!」をモットーに日々、障がい者を対象としたインクルーシブサッカースクール、知的障がい者サッカーチームを運営し、インクルーシブサッカースクールや大会の実施により障がい者と健常者がともに未来に向かう絆を作る機会の創出により両者の価値観の共有を作り上げることを目指しています。オカムラは、アクティブスポーツのサポートシップパートナーとして支援を行っています。

## TOPICS

### 福祉事業所とつながる「廃棄布を活用したコースター」



オカムラでは、障がい者の就労支援を行う企業を介して近隣の福祉事業所に委託し、障がいのある方に各種作業を担っていただいています。

その一つに追浜事業所（神奈川県横須賀市）で出るシーティングの張地の余り部分を活用したカラーサンプルチップの製作があります。これまでの活動に加えて、2023年度は、カラーサンプルチップの製作時に余った布を使ったコースター製作を依頼しました。こちらのコースターは、オフィス見学に来られたお客さまへのお土産の一つとして活用しています。オカムラの従業員が福祉事業所の皆さんとつながる活動として、今後も取り組みを継続していきます。



製作ストーリーを付けてお配りしています



カラーサンプルチップ作成の様子

## 文化・芸術活動の支援

オカムラグループでは、音楽・美術・舞台芸術等への協賛を行うなど、文化・芸術活動を支援しています。

(データ集 ▶P.167)

### オカムラ主催の企画展

#### 「OPEN FIELD (オープン・フィールド)」を開催

「OPEN FIELD」は、建築史家の五十嵐 太郎氏をキュレーターに迎え、オカムラ ガーデンコートショールームにて気鋭のクリエイターによるインスタレーションを発表する企画展です。第1回となる2023年度は、建築家中村 竜治氏、アーティストの花房 紗也香氏、テキスタイルデザイナーの安東 陽子氏にご参加いただき、「ほそくて、ふくらんだ柱の群れ 一空間、絵画、テキスタイルを再結合する」のタイトルでインスタレーションを展示しました。



## 次世代の育成を支援

オカムラグループでは、ものづくりや環境への取り組みなど企業として蓄積してきた経験を生かしながら、次代を担う若者の教育に取り組んでいます。

### JEES・オカムラ次世代育成奨学金

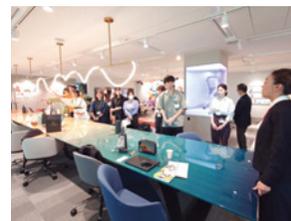
オカムラは、公益財団法人日本国際教育支援協会（JEES）の冠奨学金事業に寄付を行い、この寄付金を原資として、デザイン分野の人材育成支援を目的とした返済義務のない給付型奨学金「JEES・オカムラ次世代育成奨学金」が2021年に設立されました。

2023年度は9月に奨学生交流会を開催。オフィス見学や奨学生の学習内容発表、懇親会などを通じて交流を深めました。

今後もデザイン分野を学ぶ日本国内の大学生に対して、在学中および卒業後の経済的な不安を緩和し、学業に専念できる環境を整え、将来デザイン分野で活躍できる有望な人材の育成を支援していきます。



奨学生交流会  
学習内容発表の様子



奨学生交流会  
オフィス見学の様子

## 実務経験を生かし大学講師として人財育成に貢献

オカムラの従業員がデザインや研究などの業務を通じて得た知見を生かし、大学で非常勤講師を継続的に務めています。学校法人関東学院大学や学校法人日本大学、公立大学法人名古屋市立大学で半期を通して、エルゴノミクス（人間工学）やプロダクトデザイン、スペースデザインなどの実務者として、実践的な事例や新しい技術を紹介しながら講義を行っています。このほか、大学の特別講師としてスペースデザインやプロダクトデザインの講義・演習や講演を行うなど、次世代の育成に貢献しています。

## VOICE

「物流」を講義・実践を通して伝え、  
障がいのある生徒たちの学びを支える

物流システム事業本部  
物流システム営業部 東京西支店  
営業課 営業三係  
藤澤 航洋

東京都立青鳥特別支援学校の職能開発科物流コースの外部専門員として、2023年4月から1年間授業のサポートを行いました。東京都立青鳥特別支援学校は、日本で最初の公立の知的障害特別支援学校です。2023年度に新しく職能開発科を開設するにあたり、オカムラへ教室づくりの相談があり、私が営業として担当しました。実際の物流現場で活用するラックやコンベアなどを導入し、生徒たちが卒業後物流の現場で実際に行う作業を授業で実践できる教室づくりをしました。教室づくりを進めると同時に、物流コースの講師としても協力して欲しいとお声がけいただき、今回外部専門員として講師を務めることとなりました。

授業では、「物流」とは何か、こういった仕事があるのかを、授業で実践しながら伝えたり、ピッキングや仕分け作業でのアドバイスを行ったりしました。元気がよく素直な生徒たちは、内容を理解するとすぐに行動に移り、分からないことはきちんと聞いてくる様子が印象的でした。また相手によって理解に差があり、繰り返し伝えることの大切さを感じました。誰かに指導する経験が少ない私は、きちんと伝えられているのか不安もありましたが、2024年度も続けて欲しいとの依頼があり、自信にもつながっています。

講師をする中で「物流」という仕事への理解がより深まったと感じたので、今後は、同じ部門の新入社員も参加を予定しています。

障がいのある生徒たちが、卒業後物流現場で働く手助けとなれば幸いです。



授業の様子

## TOPICS



## 次代を担う子どもたちの主体的な学びに関わり「生きる力」を育む 次世代育成支援「クエストエデュケーション」の取り組み

### 「クエストエデュケーション」とは

「クエストエデュケーション」とは、株式会社教育と探求社が2005年にスタートした、現実社会と連動しながら「生きる力」を育む探究学習プログラムです。これまでに約44万人の中高生が学校の授業として学び、2023年度は、全国42都道府県、440校約8万8000人の中高生が取り組みました。オカムラが2022年度から参画している企業探究コース「コーポレートアクセス」は、実在する企業へのインターンシップを教室で体験し、働くことの意義や経済活動について学び、企業という仕組みを活用して自分たちの手で未来をつくることを学ぶプログラムです。参加する中高生たちはフィールドワークやアンケート調査など企業の実務を体験し、その企業から提示されるミッション（課題）にチームで取り組みます。参画企業の従業員は学校訪問等を通して中高生たちの探究活動に伴走しています。



チームに分かれ、案を出し合う生徒たち



生徒たちのアイデアに質問を投げかけます

### 2023年度は従業員約40名が学校訪問に参加

オカムラは2023年度のミッションとして、「私の『あいまいさが活きる』未来をつくる オカムラの革新的なサービスを提案せよ!」を提示しました。中高生たちはグループで調査や議論をしながら自由な発想で企画を考え、探究活動に取り組みました。オカムラの従業員は、学校訪問での問いかけや対話、オンラインシステムでのやり取りを通じて活動をサポートしました。

### クエストカップ2024全国大会

「クエストカップ全国大会」は、「クエストエデュケーシ

ョン」に取り組む中高生が集い、1年間の探求の成果を社会に向けて自分たちの言葉で発信し、それを社会が受け止める場です。参画企業は、自社のミッションに取り組んだ生徒の中から「企業賞」「準企業賞」を表彰します。2024年2月に行われた「クエストカップ2024全国大会」でオカムラの企業賞を受賞したのは、昭和学院秀英中学校の「OKAMU船長」チームでした。オカムラは、「企業賞」を受賞したチームへの副賞としてオフィスとショールームへ招待するイベントを開催。イベント当日は、たくさんのおカムラ従業員が参加する中、生徒たちが、全国大会と同様の発表を行いました。

オカムラは、企業として蓄積してきた経験を生かしながら中高生の主体的な学びに関わり、次世代の育成に貢献します。

## VOICE



オフィス環境事業本部  
中部支社 マーケティング課  
セールスプロモーションセンター

河田 佳美

### 生徒も私たちも共に成長できる場

2022年度からコーポレートアクセスに関わり、全国の中高生と一緒にオカムラのミッションについて考え、対話をしてきました。ミッションの中にある「あいまい」については、大人の私たちでも解釈が難しく、考えさせられるキーワードですが、学校訪問を繰り返し、生徒たちと直接対話を繰り返すことで、どんどんアイデアが深まっていきました。私自身も「あいまい」について自分も探究し、生徒たちと一緒に考えることで、ワクワクする場面があったり、生徒たちのひらめく瞬間に立ち会うことができ、嬉しく思います。このプロジェクトは、生徒たちの探究学習としての学びの場でもありますが、大人の私たちも生徒たちと関わることで学び、多くの刺激を受ける良い機会となりました。



オフィス、ショールームへの招待イベントでの集合写真